

## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 1. 動向

2023年9-11月の延べ宿泊者数（全体）は「2,179,350人」、前年同期比で「+24.1%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,945,330人」、前年同期比で「+11.7%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「234,020人」、前年同期比で「+1,632.2%」でした。

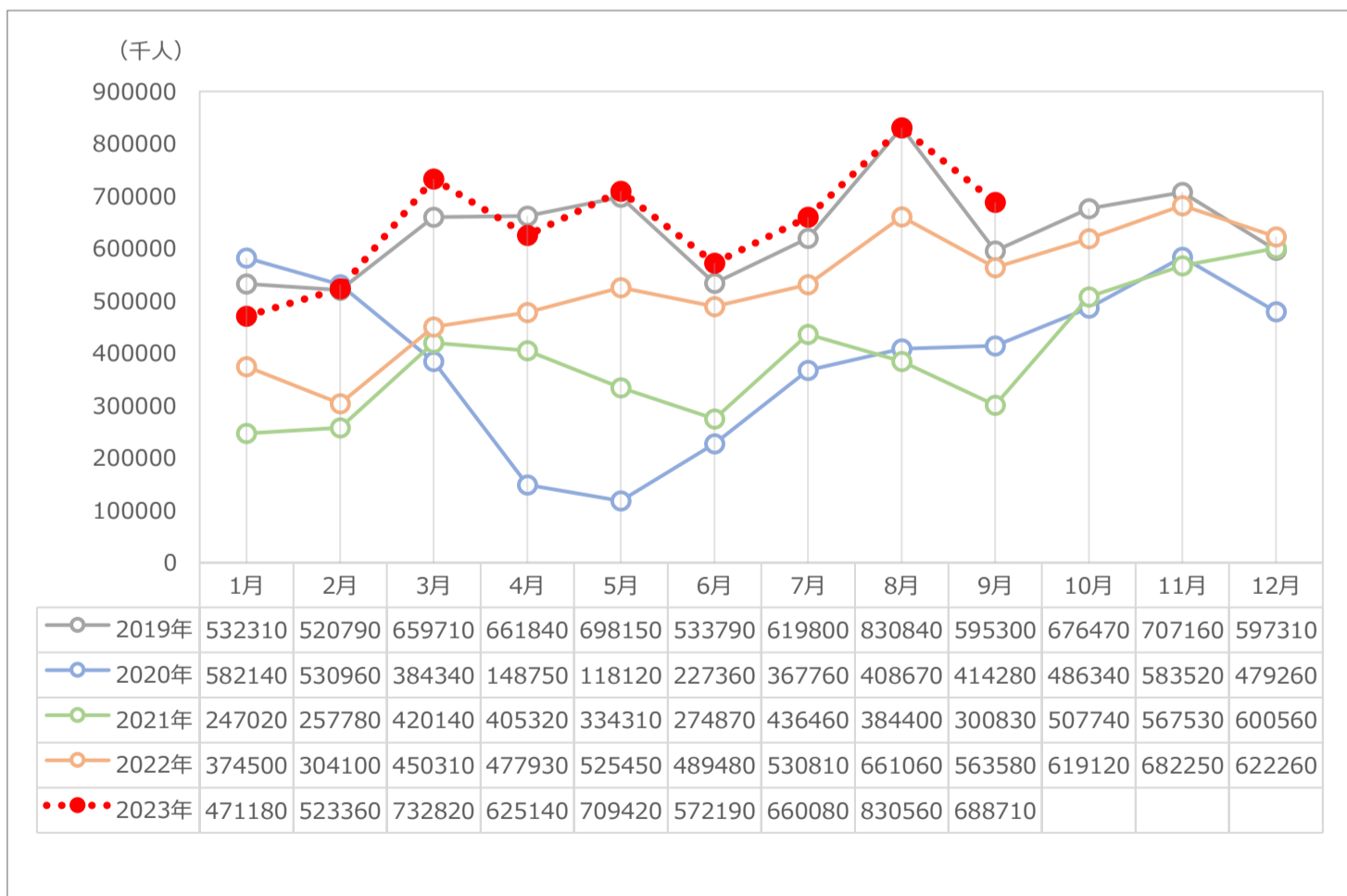
### 2. 延べ宿泊者数

<b>総数：</b>	<b>2,179,350</b>	<b>人</b>	<b>（前年比： + 24.1 %）</b>
9月：	688,710	人	（前年比： + 22.2 %）
10月：	790,450	人	（前年比： + 27.7 %）
11月：	780,150	人	（前年比： + 14.3 %）

※前年比・・・2022年3Qとの比較

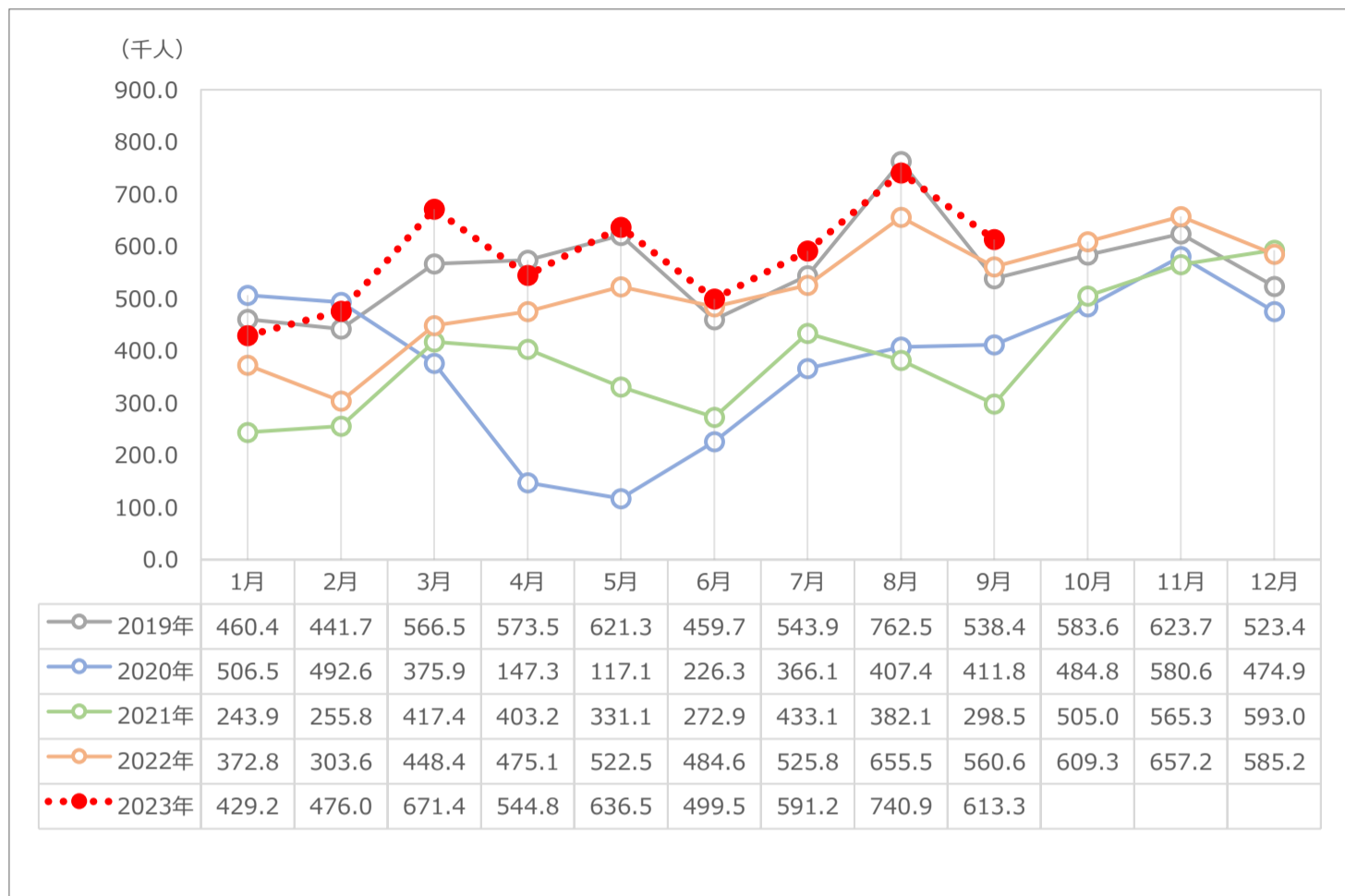
### 3. 推移

#### ① 延べ宿泊者数（全体）

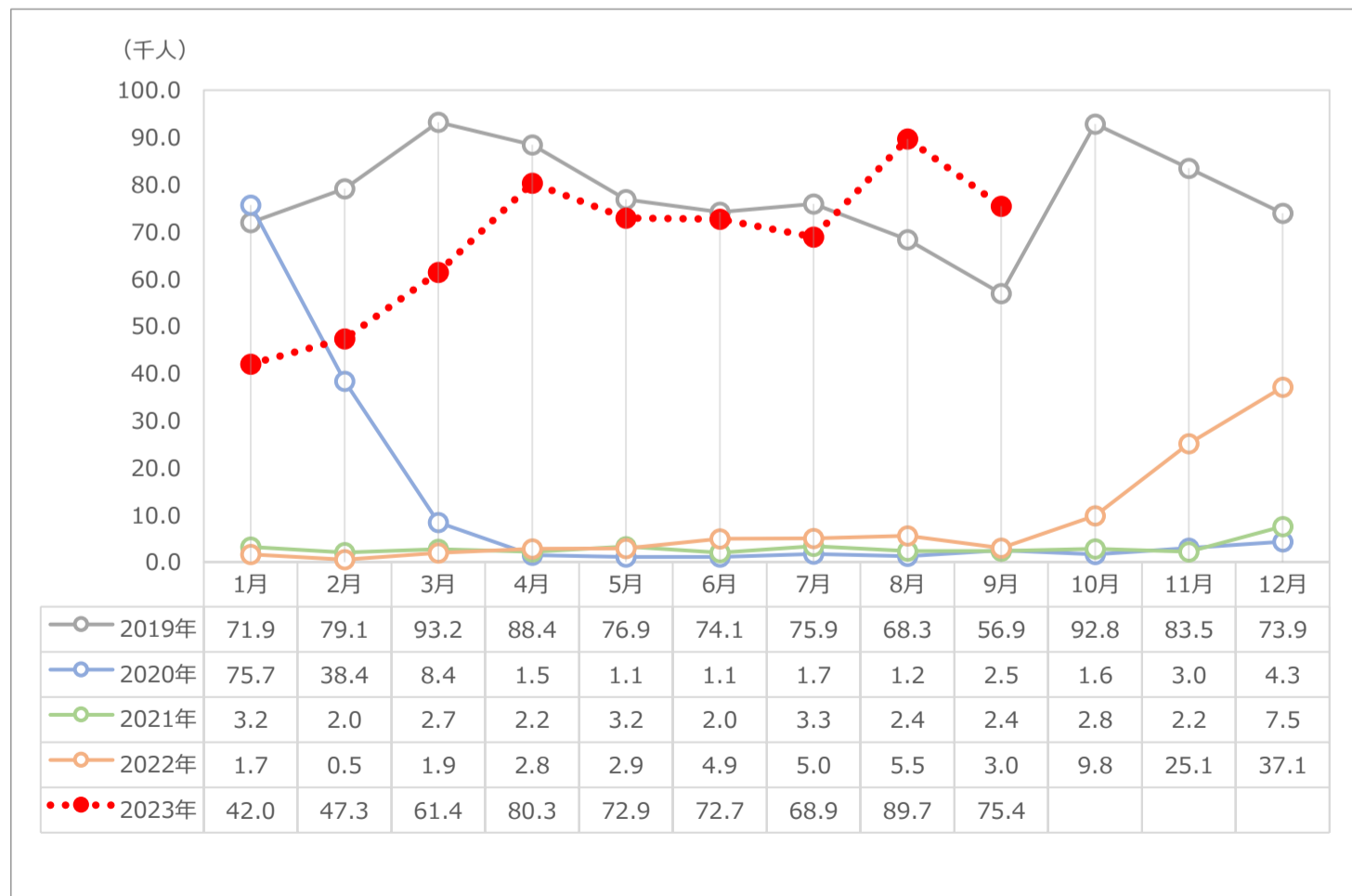


## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### ② 日本人延べ宿泊者数

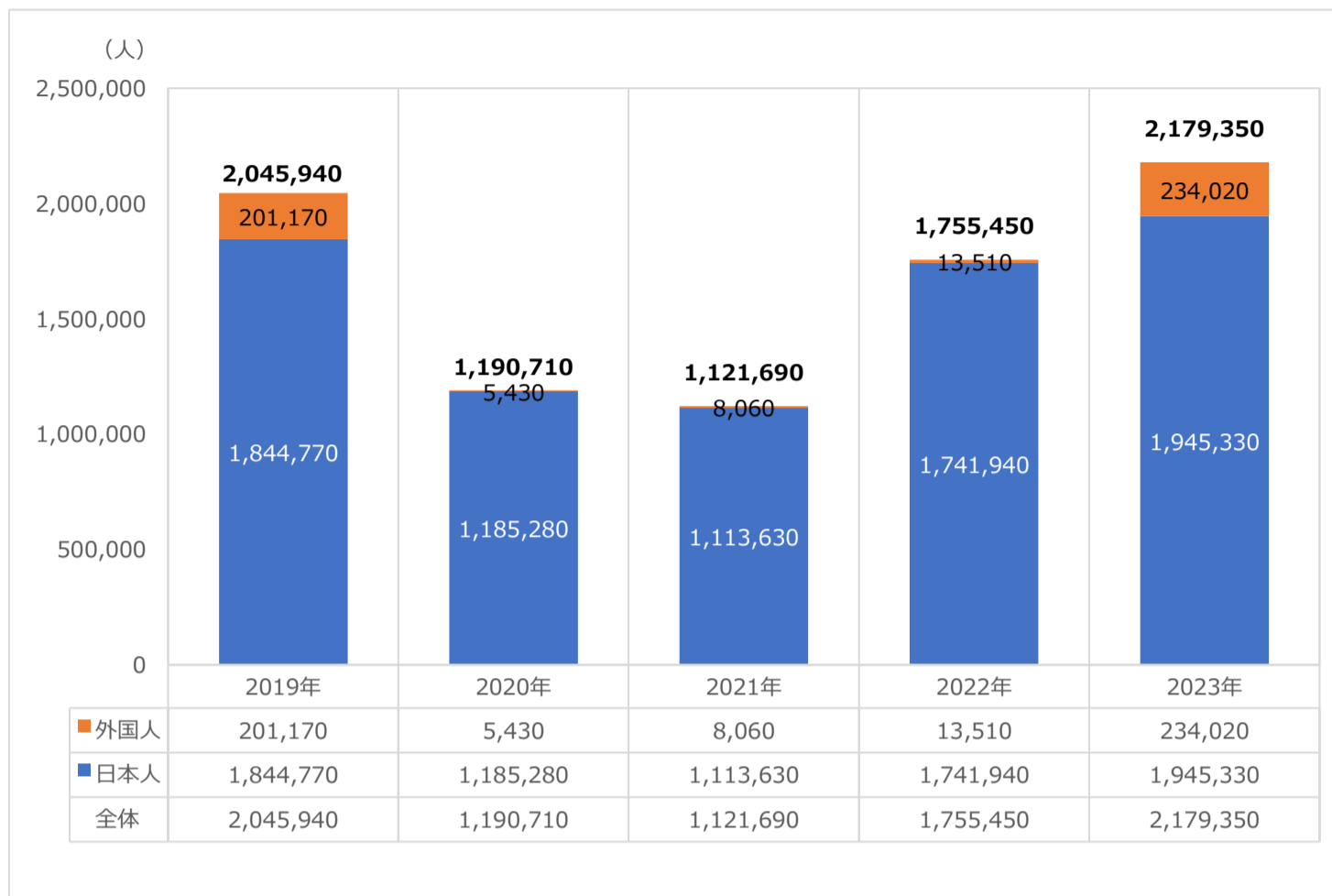


### ③ 外国人延べ宿泊者数

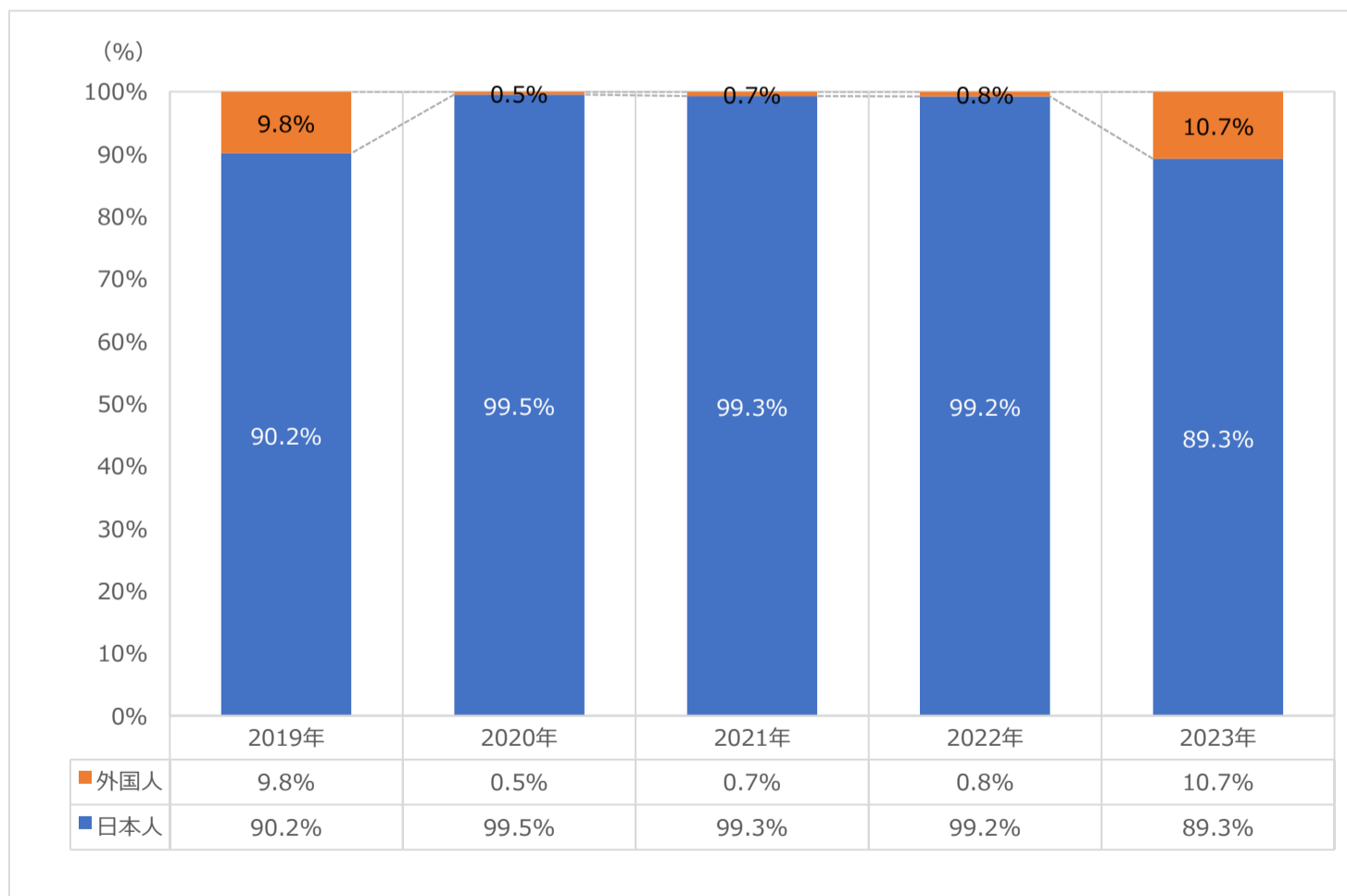


## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



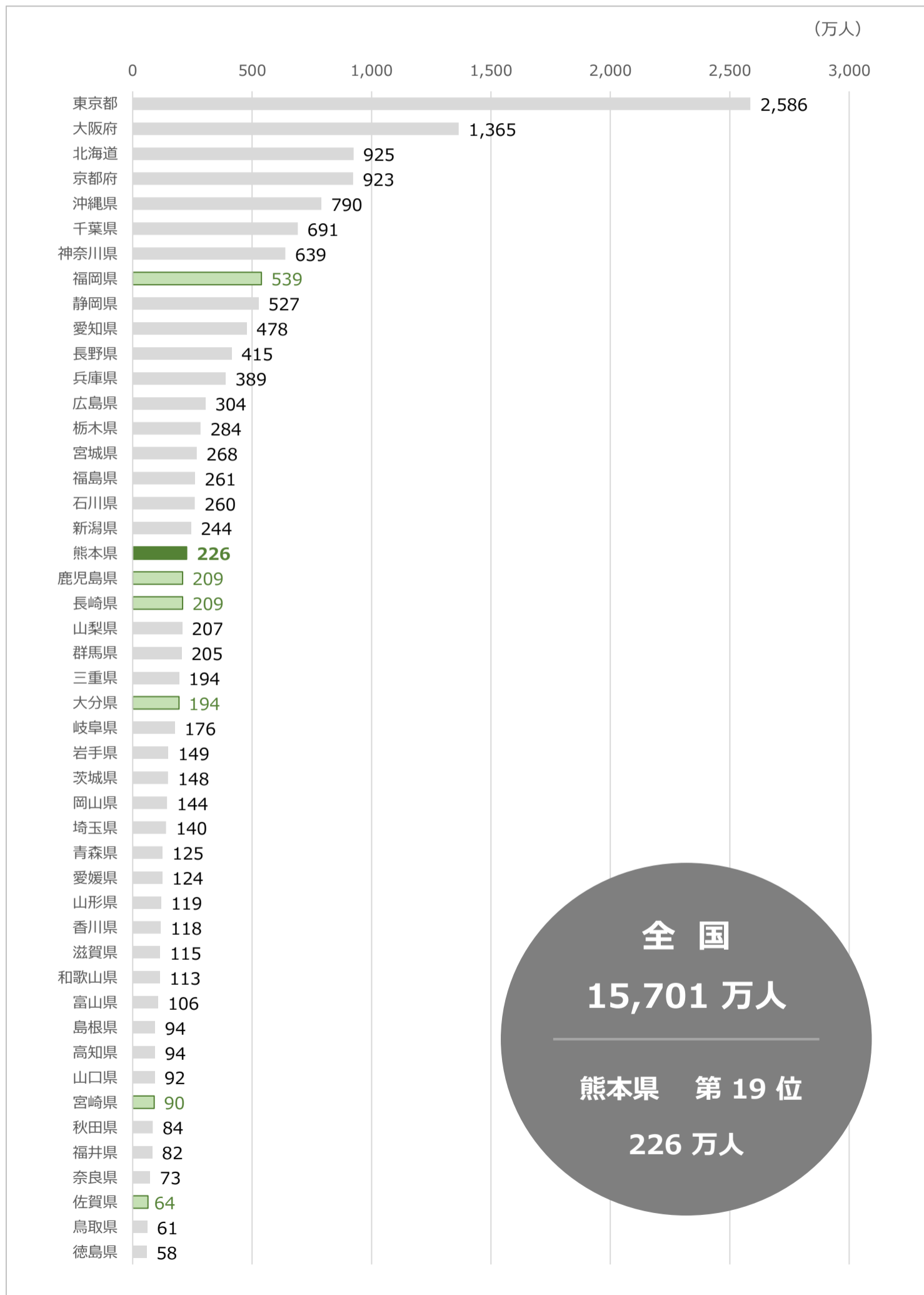
### 5. 日本人・外国人別割合



## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 6. 都道府県別延べ宿泊者数

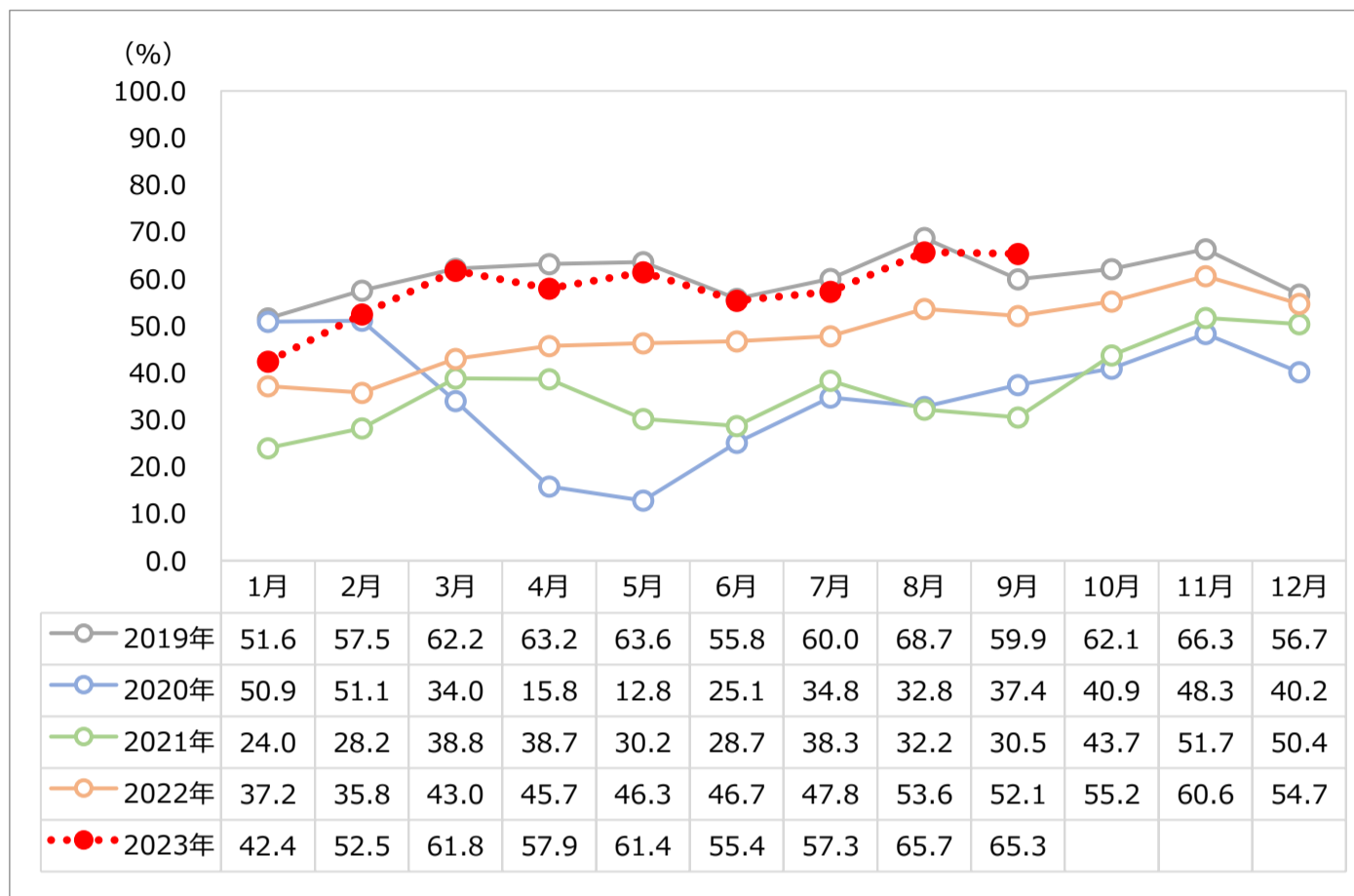
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 7. 客室稼働率

#### ① 推移



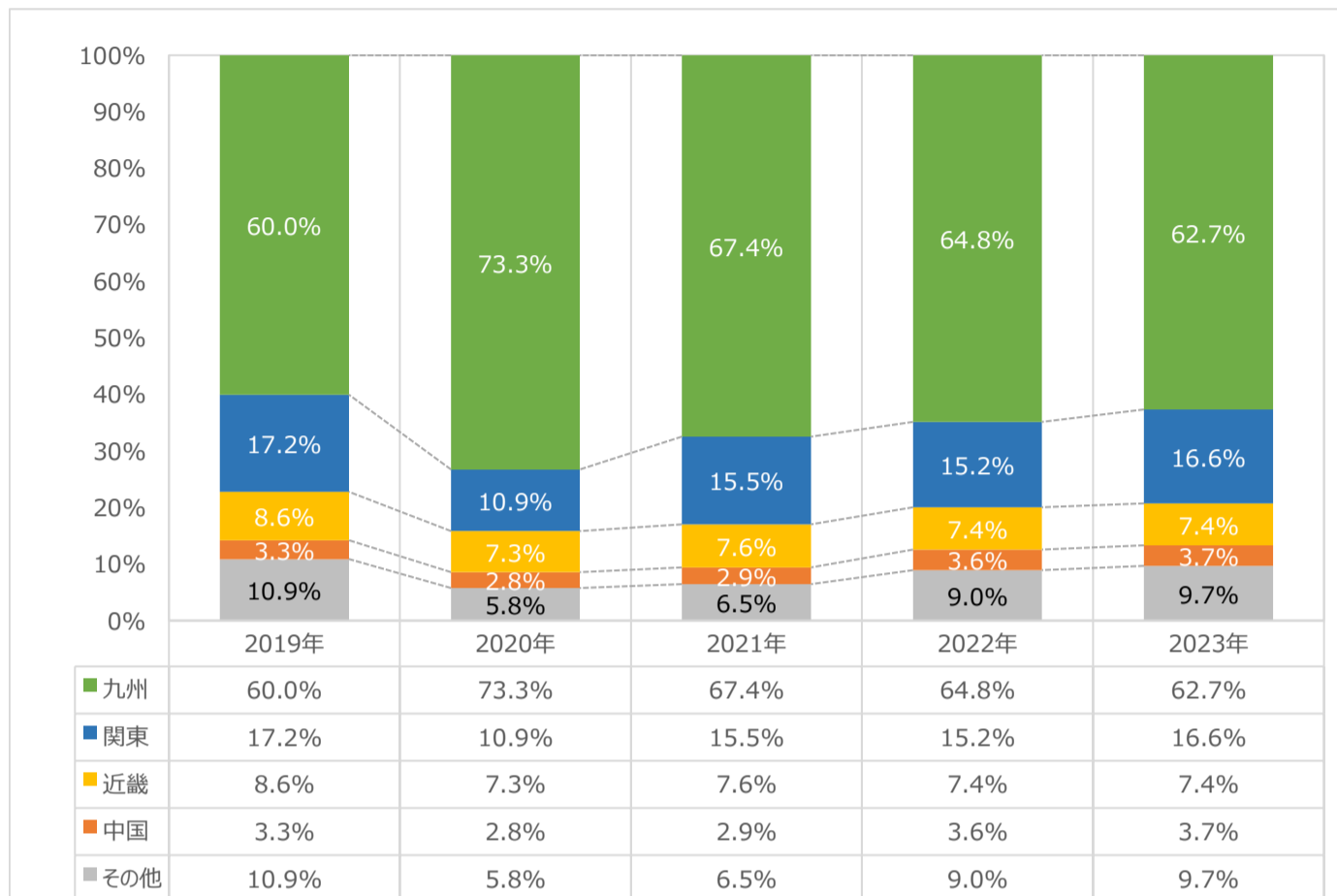
#### ① 施設別稼働率

施設	2022年			2023年		
	9月	10月	11月	9月	10月	11月
全体	52.1%	55.2%	60.6%	65.3%	67.2%	68.3%
旅館	38.8%	46.1%	54.2%	48.5%	56.7%	60.5%
リゾートホテル	38.2%	47.9%	52.2%	52.7%	61.2%	62.2%
ビジネスホテル	65.5%	68.1%	70.6%	82.5%	83.5%	86.0%
シティホテル	56.6%	64.6%	73.0%	76.5%	79.2%	82.6%
簡易宿所	16.8%	14.3%	25.7%	33.5%	20.3%	17.0%
会社・団体の宿泊所	54.5%	38.3%	35.9%	49.0%	52.3%	47.3%

## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 8. 国内発地別延べ宿泊客者数（従業者数100人以上の施設）

#### ① 地域ブロック別割合

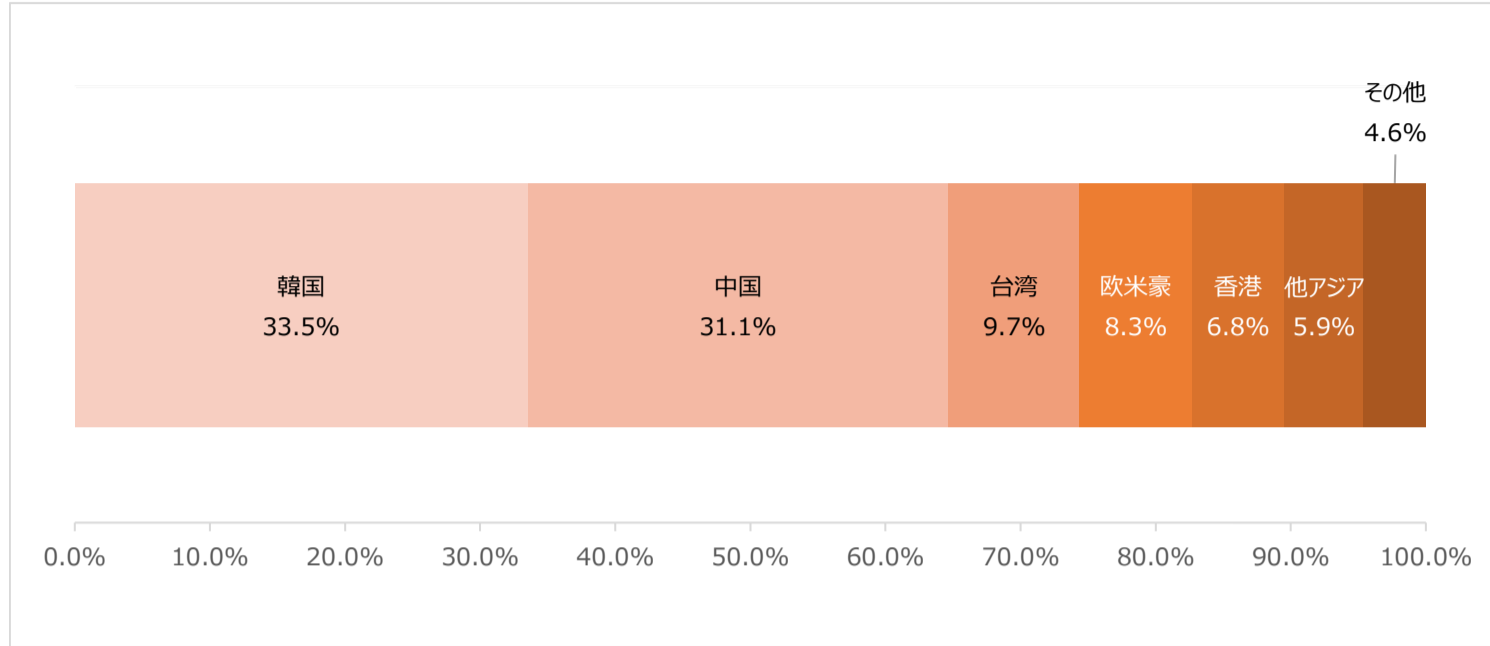


#### ② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2022年		2023年	
1	熊本県	33,830人	福岡県	20,001人
2	福岡県	29,284人	熊本県	19,403人
3	東京都	9,672人	東京都	7,750人
4	鹿児島県	8,839人	鹿児島県	6,872人
5	神奈川県	5,235人	宮崎県	3,846人
6	大阪府	4,558人	神奈川県	3,685人
7	長崎県	4,493人	大分県	3,384人
8	宮崎県	4,079人	長崎県	3,291人
9	愛知県	3,931人	大阪府	3,281人
10	大分県	3,755人	佐賀県	2,412人

## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）



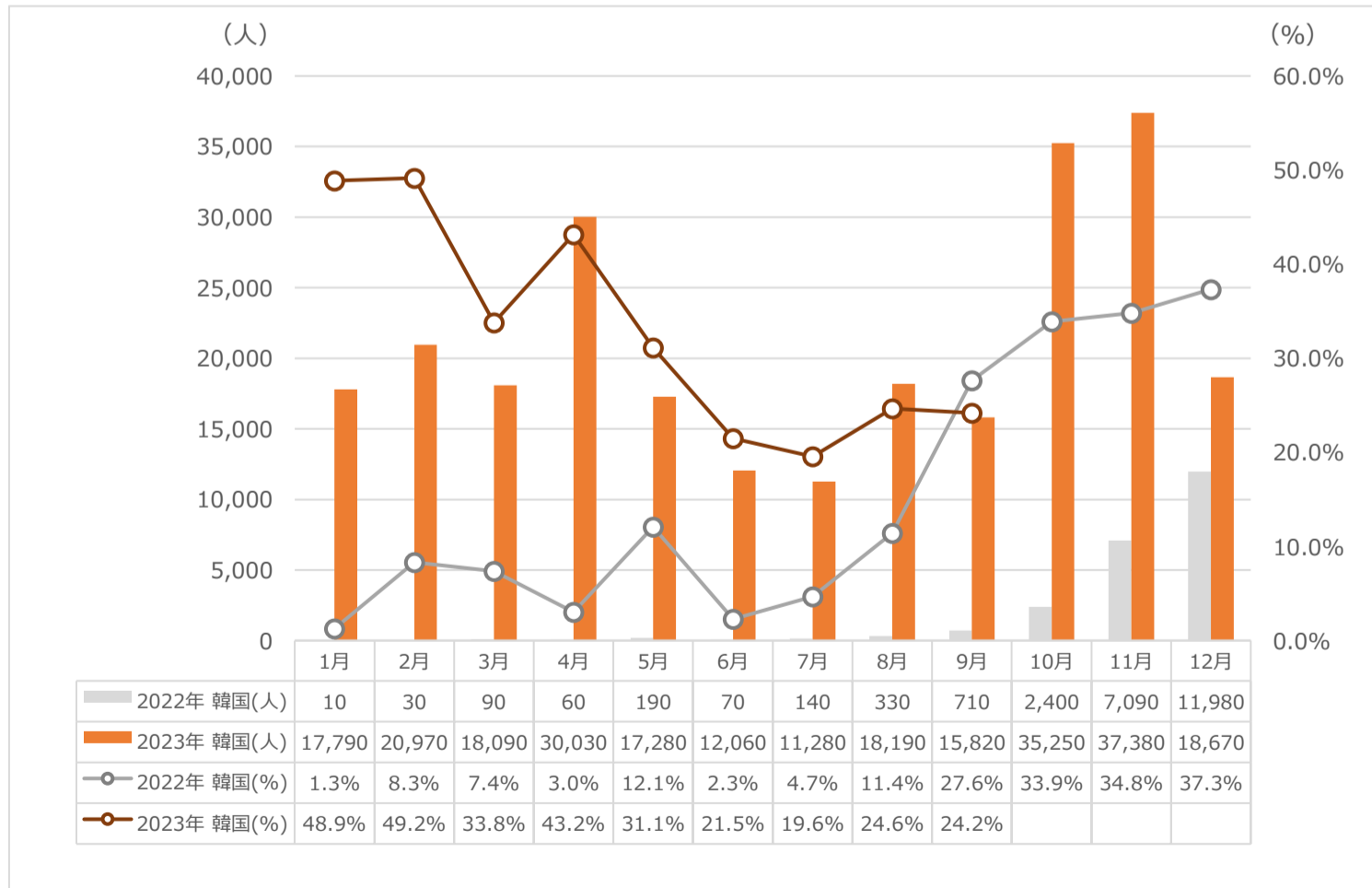
2023年3Qの国籍（出身地）割合は、韓国が「33.5%」で最も多く、次いで中国が「31.1%」、台湾が「9.7%」と続きました。

欧米豪 : アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン  
 他アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン  
 その他 : 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジアに該当しない国籍（出身地）

### 10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

#### ① 韓国

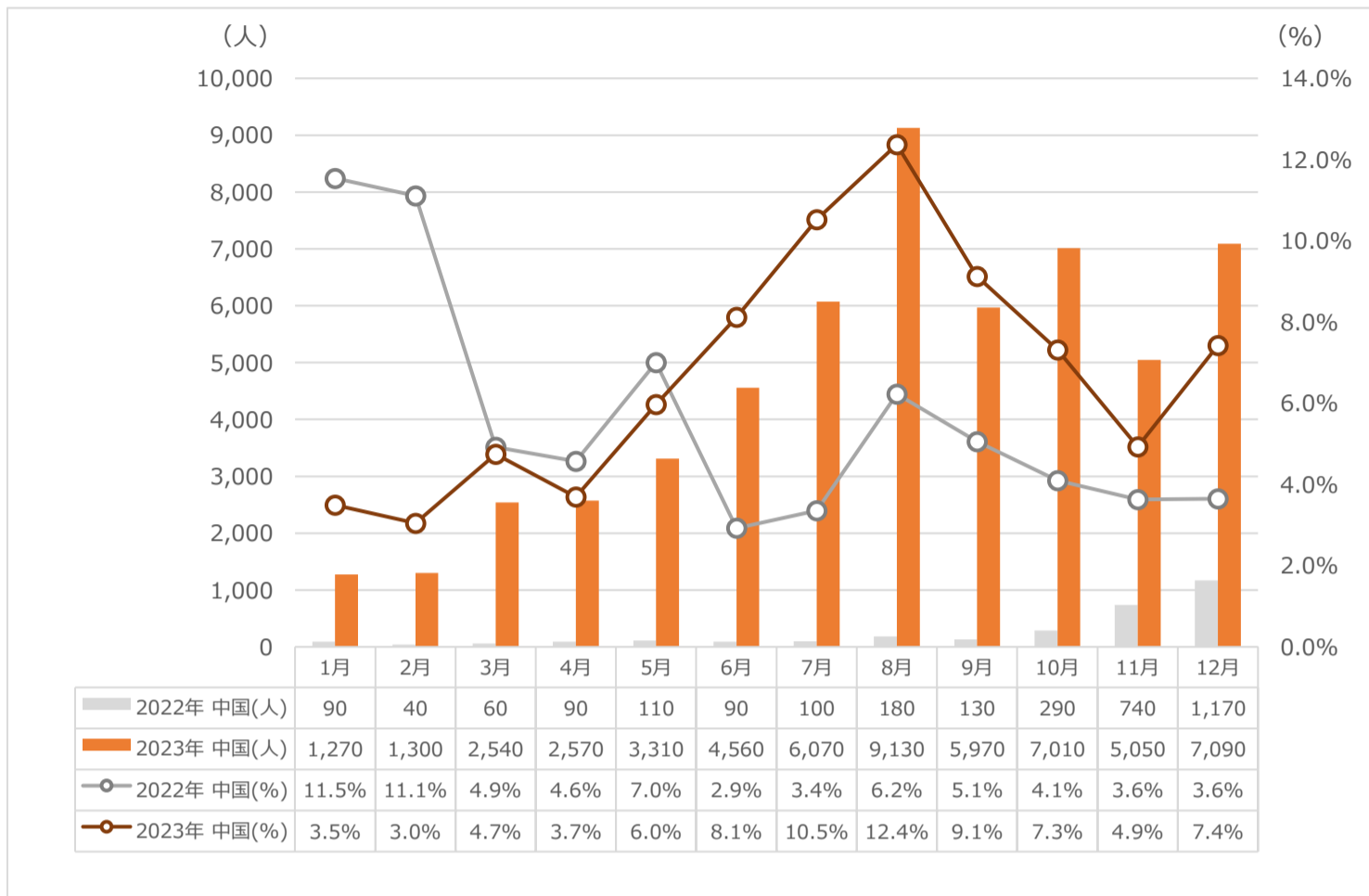
※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

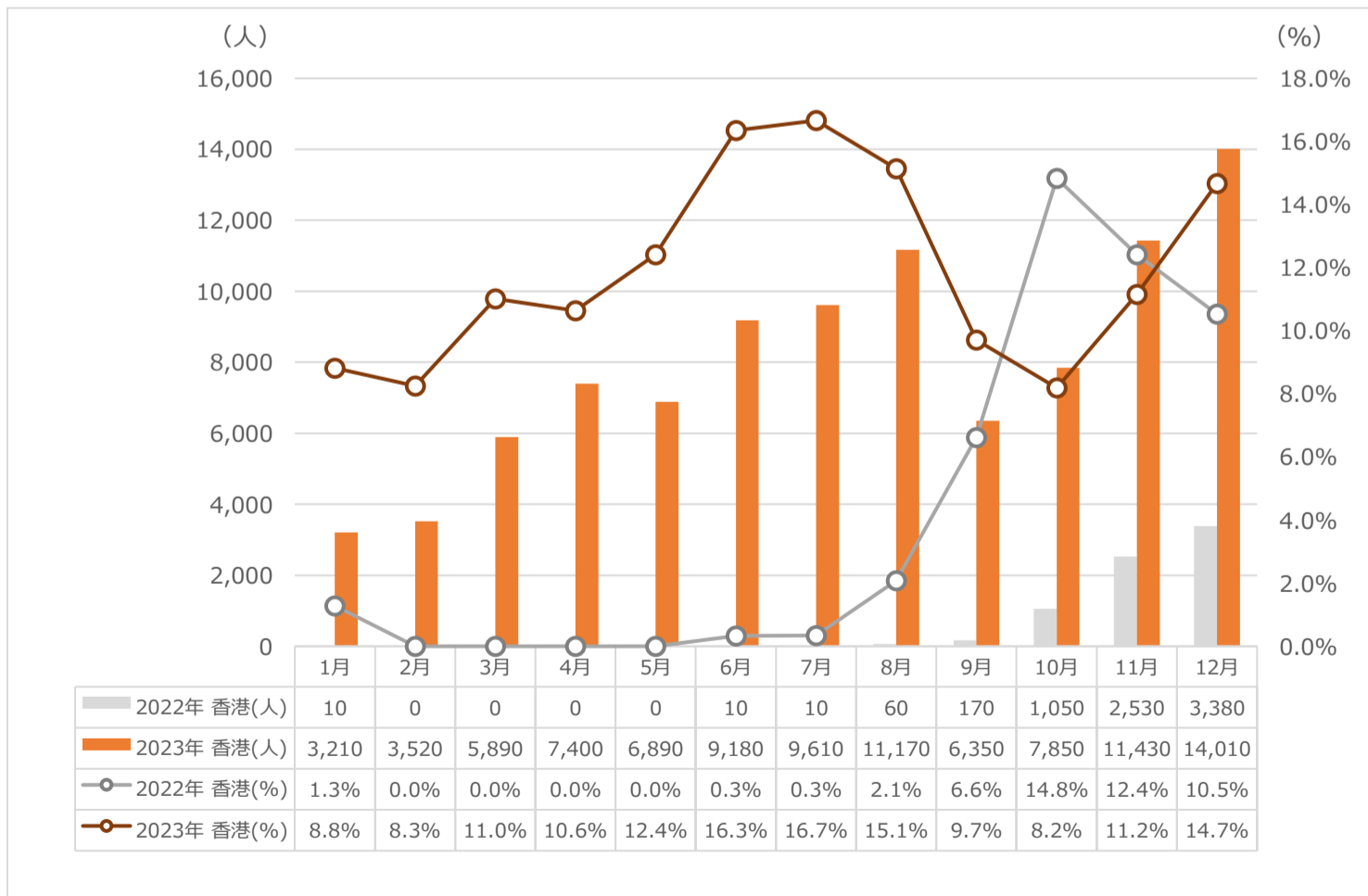
### ② 中国

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



### ③ 香港

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合

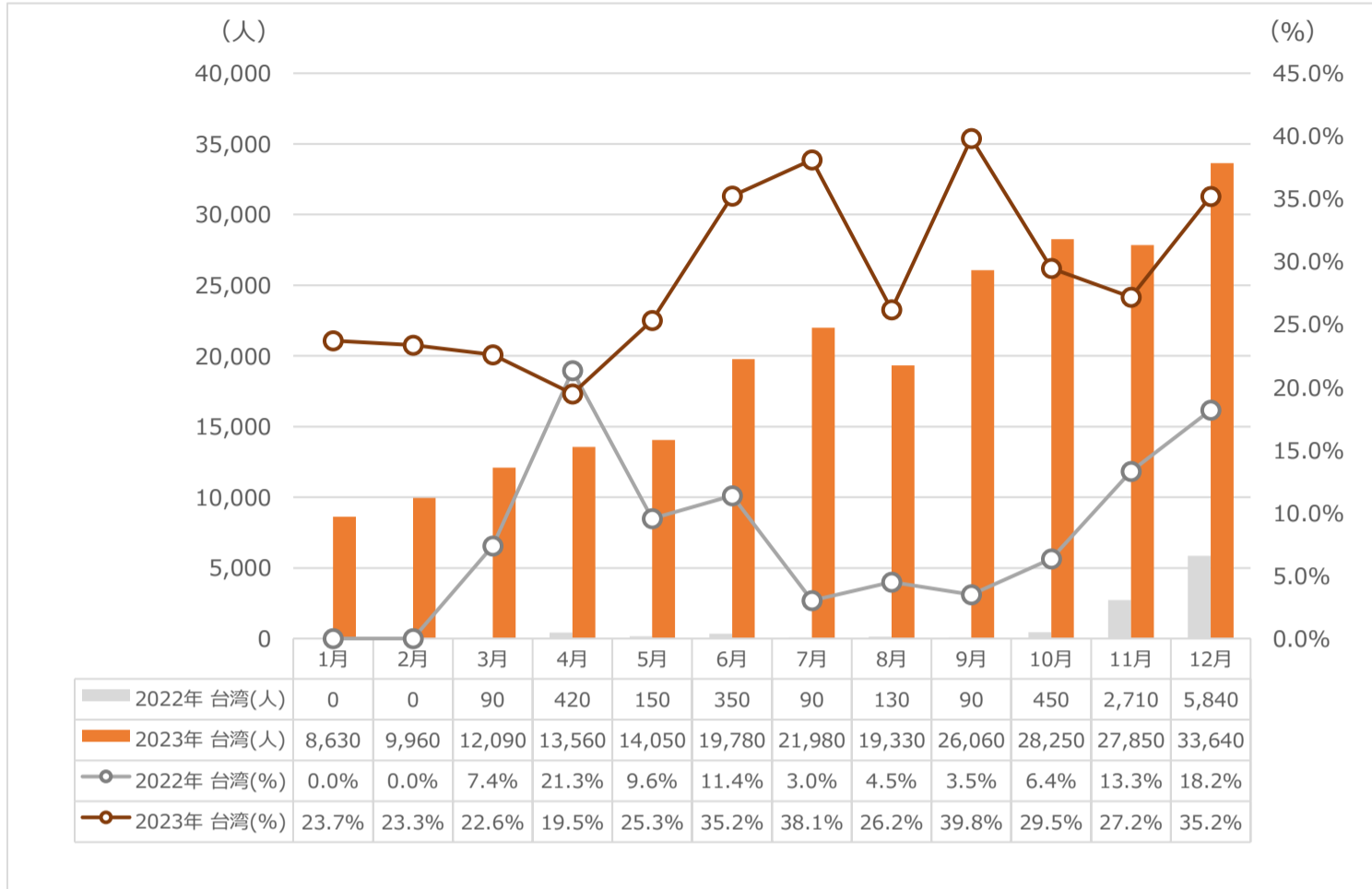




## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

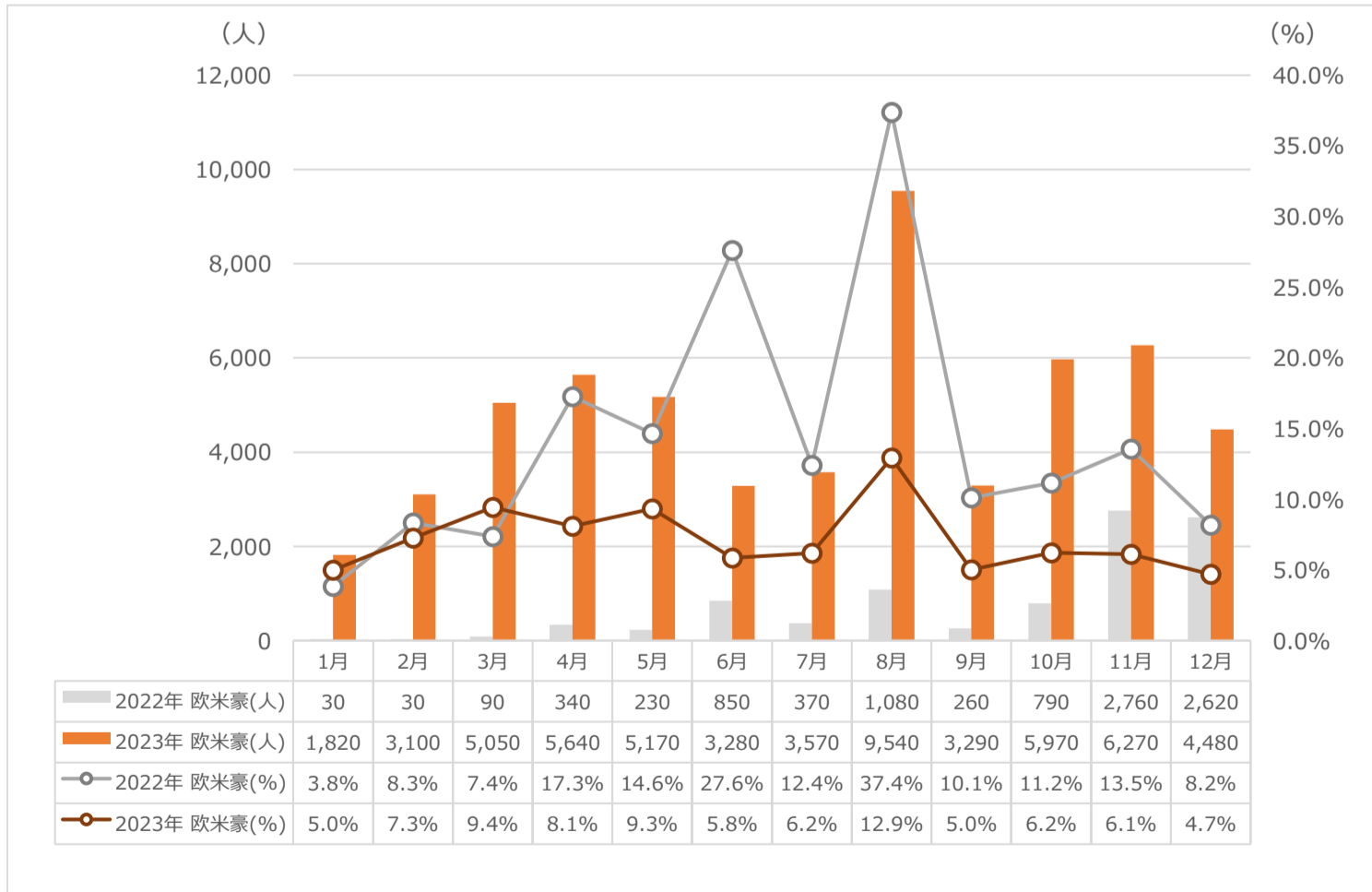
### ④ 台湾

※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



### ⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

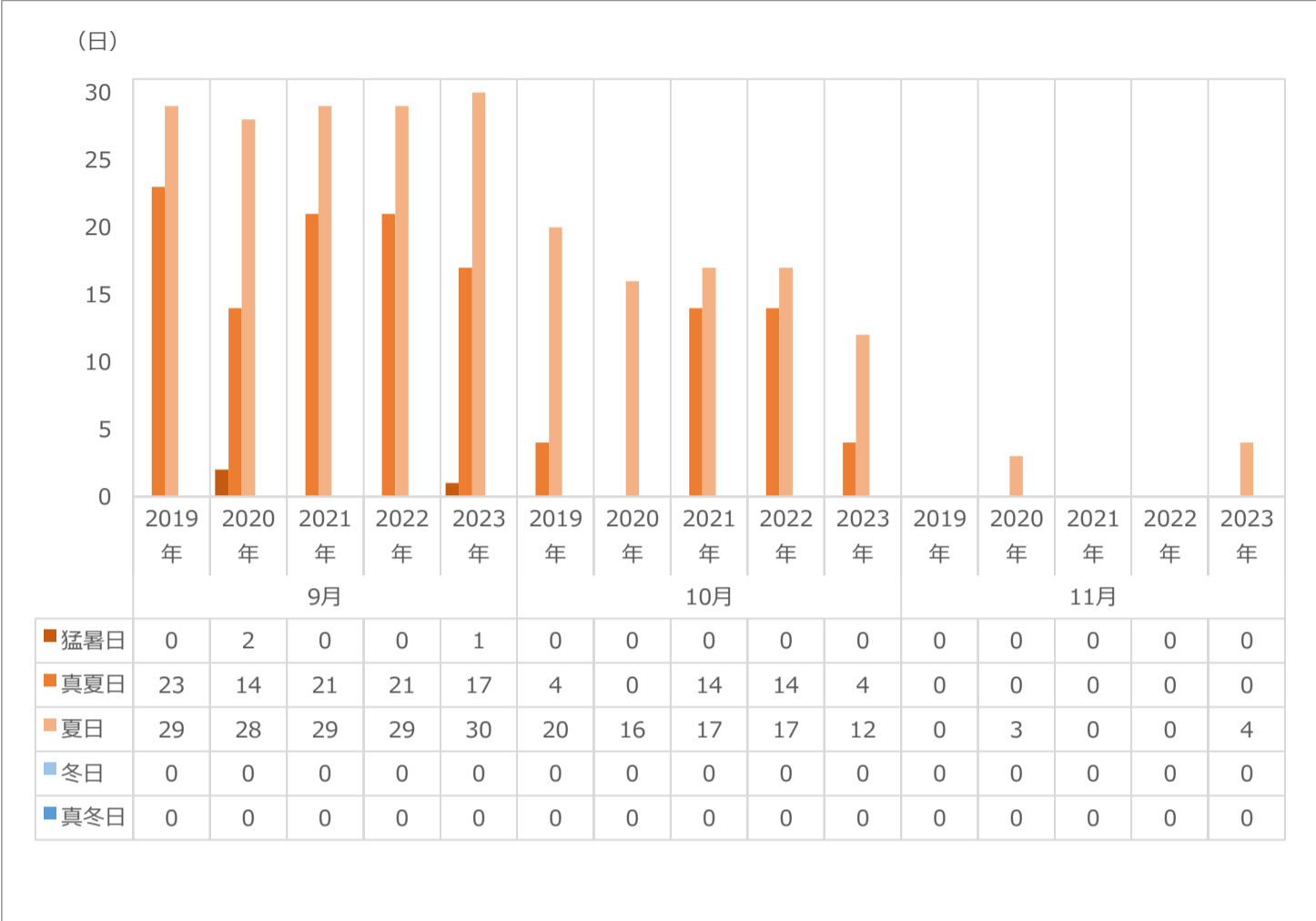
※人=延べ宿泊者数、%=国籍割合



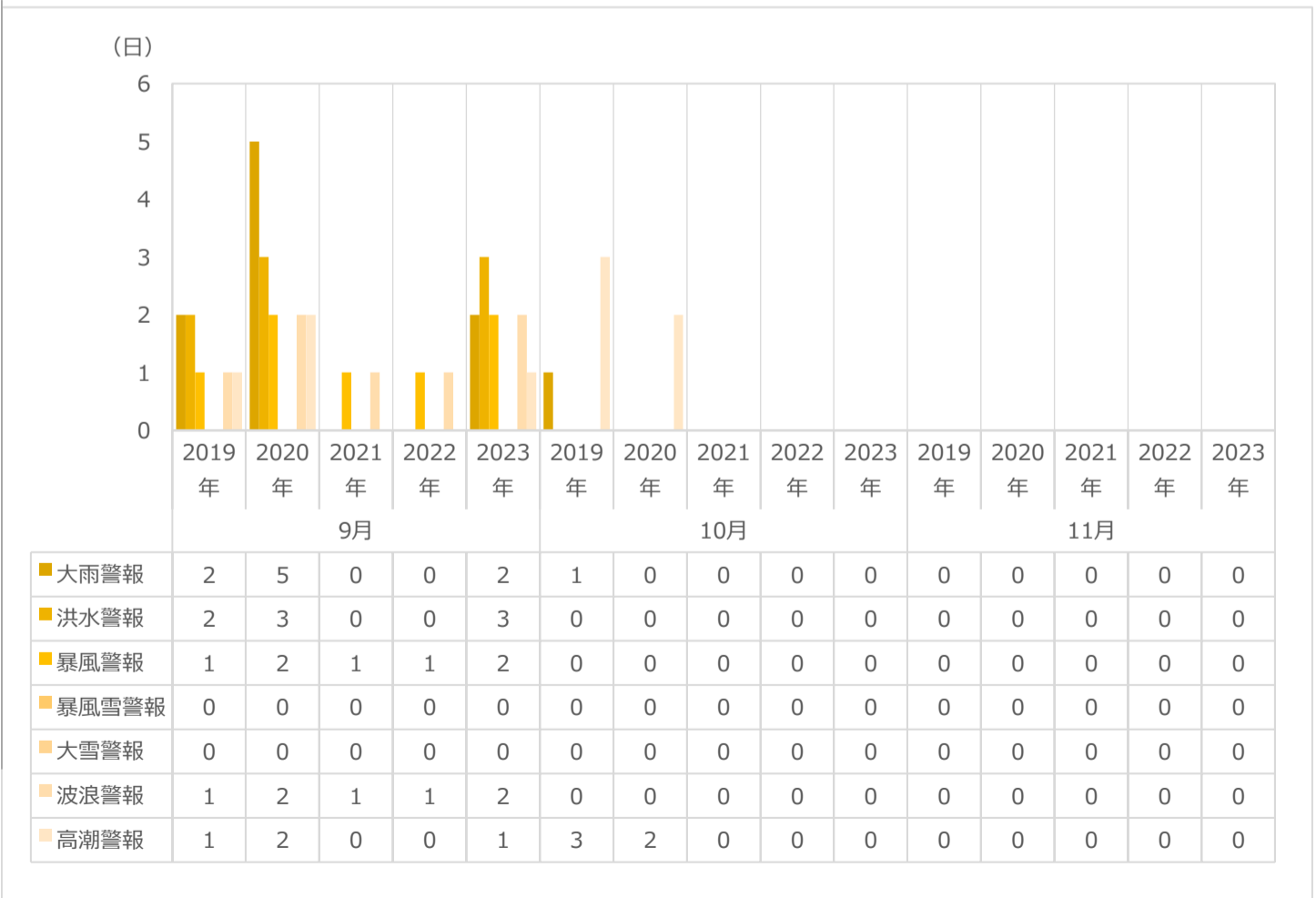
## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



## 2023年3Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

### 12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [特記事項がない場合は空欄]

#### ▽ 地域のトピックス ▽

- ・南阿蘇村の旧東海大阿蘇キャンパスに震災ミュージアム「KIOKU」が開業（7/15）
  - ・南阿蘇鉄道が7年ぶりに全線運転再開（7/15）
  - ・台風6号が接近し、交通機関などが計画運休（8/8～9）
  - ・スターラックス航空の熊本・台北間定期便が就航（9/1）
  - ・チャイナエアラインの熊本・台北間定期便が就航（9/18）
  - ・人吉・球磨が舞台の映画「夏空ダンス」が公開（9/22）
  - ・山都町の通潤橋が国宝に指定（9/25）
  
  - ・「くまもと再発見の旅（全国版）」実施（エリア：熊本県全域、対象：全国（W）、宿泊期間：2022/10/11～※）  
（宿泊施設への直接予約は6/30、宿泊予約サイトから申込は7/21をもって販売終了、以降団体旅行のみ）
  - ・「熊本行くモン旅割（豪雨ふっこう割）」実施（エリア：県南13市町村、対象：全国、宿泊期間：2023/7/7～11/30）
- ※GW・年末年始を除く（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要

#### ▽ 観光シーズンの動向 ▽

期間全体では、コロナ禍の収束、感染症法での5類移行の影響から、祭り・イベントの再開も相まって、国内観光需要の回復が進んだ。またインバウンドも、熊本・福岡空港からの国際線定期便が就航・運航再開され、円安の追い風もあり、外国人宿泊者の増加も続いている。加えて、半導体工場をはじめとした工事需要やビジネス需要も旺盛であり、平日の稼働状況が高いことから、期間全体の宿泊者は2019年を上回り、過去最高であった2018年に迫った。

観光シーズンに関しては、7月や9月の3連休（7月15～17日、9月16～18日）は好調であったが、夏休み期間は猛暑、ガソリンをはじめとした物価高の影響も一部みられ、8月の延べ宿泊者数は2019年を下回っている。また、熊本市・阿蘇地域・菊池地域では2019年同期を大きく上回る一方で、同年水準に未だ届かない地域もあり、県内の地域差も目立ち始めている。

#### 熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
  - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合  
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値  
※2019～2022年は確定値、2023年は第2次速報値を採用
  - 気象情報  
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
  - 地域のトピックス  
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
  - 観光シーズンの動向  
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
  - 本調査内の数値  
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。  
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
  - 他の同類・類似調査  
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。  
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

\*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。